



理事長通信

年頭所感

愛知県バドミントン協会
理事長 山田 順一郎

皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年11月27日から12月3日に、日本のバドミントン界では最高峰の大会と言われる全日本総合選手権大会が、例年の会場である代々木第2体育館から、駒沢オリンピック公園総合運動場体育館に会場を移して行われました。収容観客数4,000人の会場が最終日の決勝戦では超満員になり、現場にいました私はバドミントン人気がますます高まっていることを肌で感じた次第であります。

本会会員の皆様におかれましても、県協会主催の大会また各連盟主催の大会などで、大いにバドミントンを楽しまれた昨年であったことと存じます。

私は協会運営にかまけてバドミントンのラケットを握る機会が皆無の状態ですが、日頃からやはりバドミントンは「DO SPORT」であると思っております。しかし、負け惜しみではないですが、バドミントンの試合を見て楽しむ「SEE SPORT」もまた一興であるとも思っております。

本県においても、昨年は9月に東海地区のチャンピオンを決める東海総合大会が刈谷市で、10月には学生日本一を決めるインカレが一宮市で開催され、トッププレーヤーの闘志溢れる試合を目の当たりにされ、バドミントンを「SEE SPORT」としても大いに楽しまれたことと思います。

最後になりましたが、ビッグニュースを一つ。昨年11月17日～19日に、福井県勝山市で開催されましたバドミントン日本リーグ2017(旧称2部リーグ)男子の部で、本県のJTEKT(ジェイテクト)チームが見事リーグ優勝し、来年度のS/Jリーグ(旧称日本リーグ)昇格を決めました。心からお祝いを申し上げるとともに、上位進出を願って止みません。JTEKTチームの本拠地である刈谷市において、S/Jリーグ2018刈谷大会の開催を計画いたしております。会員皆様の応援もよろしくお願いいたします。

第8回世界シニア選手権大会、高倉あゆみさん(RHBT)が銅メダル!!

[寄稿]

2017年9月11日～17日、インドの南部コーチ市で開催された第8回世界シニア選手権大会に、40代XDの日本代表として出場し、なんと!!!銅メダルを獲得しました。奥原選手と同じデザインのメダルです!この大会は元オリンピック選手や世界ランカーも出場する世界一種大会ですが、結果を残せた理由は3つあります。

- ①春にニュージーランドで行われたワールドマスターズに参加し、海外の試合を経験できたこと。(40WS銀メダル)
- ②藤本ホセマリさんとペアだったこと。
- ③メンバー8人で自炊(炊飯器持参)し、力を落とさず試合ができたこと。

出発前、過去の大会の中で一番環境が悪く、特に「水」には細心の注意が必要とのレクチャー。おなかをこわし、一発入院もあり得るという話や、皿・フォークなどを除菌シートで拭いたり、歯磨きや顔を洗うのも買った水を使用するよう指示がありました。インドということで覚悟はしていましたが、これほどとは・・・想像以上で溜息が出ました。

ホテルと体育館はシャトルバスで移動していました。バスから見るインドの街はというと、道端には野良牛。工事中の高速道路は未完成のまま放置。現地のバスはいつも満杯。渋滞で止まると物売りが押し寄せるなどワイルドな面がたくさんあります。またガンジス河の水は腐らないといわれているそうです。



藤本ホセマリ選手、高倉あゆみ選手

ドーピング検査もあるので、100種類以上のスパイスがあるというインドの料理は、食べてみたいけど我慢。(日本での予防接種も薬の成分を調べて受けました。)

スーパーで必要な水を買ったりする以外は、ホテルと体育館にいました。

試合のタイムテーブルは毎日、前日のPM7時くらいにネットで発表されます。常に試合の気持ちでいるので観光という気分は全くありません。

体育館は、コートマットで映像や曲が流れ、選手控室から、整列してコートに向かいます。コールで「名前」と「JAPAN」を聞いて気持ちが引き締まりました。試合中は落ち着いていましたが、海外選手はリストが強く「そこから奥まで飛ばす？」という場面に、私が一番小さい選手とはいえ、自分のパワーの足りなさを感じました。そんな中でチームJAPAN一丸となつての応援は非常に心強かったです。合間には休憩室のチャイに癒されました。

海外の選手とはすぐに交流でき、一緒に写真を撮ったり、片言でも話を通じたりと、毎日を非常に楽しく過ごすことができました。帰国後もSNSやメールでのやり取りが続いていて、世界に知り合いが増えました。今後は海外でも試合や練習ができそうです。10日間一緒に過ごしたメンバーや海外の選手との交流と、世界大会出場の経験は、人生で大きな財産となりました。

何より感動したのは、日本で経験できないような表彰台に上がり、「名前」と「JAPAN！」と呼ばれ、メダルを授与されたときのこと。最高に気持ちのよい瞬間でした。今も映像を何度も見返しています(笑)

全日本シニアで人生の目標にしていたメダルが取れた時(2015年40XD、銅メダル)は「もう辞めてもいい！」くらいの達成感でしたが、また新しい目標ができました。大好きなバドミントン、この経験を土台にして、チャンスや可能性が



高倉あゆみ選手

ある限り、日々の努力を続けてもう一度行きたいです。生涯記憶に残る素晴らしい経験ばかりの10日間を過ごせたのも、日頃から練習や応援、大会をサポートしてくださっている皆様のおかげです。本当にありがとうございました。(高倉あゆみ)

高倉選手がJAPAN代表に決まったとの報を聞き、寄稿をお願いしました。

愛知県からは他に、青山忠雄さん(三菱重工名古屋)がMD60で銅メダルを、真田範子さん(RHBT)がWD35で銀メダル、WS35で銅メダルを獲得されました。併せて紹介します。

第131回中日楯争奪平成29年度秋季愛知県新人バドミントン大会

8月20日、27日及び9月3日の3日間にわたって4会場で熱戦が繰り広げられた。

最終日は昭和スポーツセンターで各種目の勝ち残り者が優勝を目指した。

男子シングルス 中嶋慎太郎(名城大)

高校で魅せられ始めたバドミントン。そしてついに中日楯争奪戦の頂点に立った中嶋慎太郎さん。長時間の準決勝に続く決勝戦、ゲーム中の大きな掛け声が印象的。マッチポイントを迎えた時には左足は悲鳴をあげていた。自由の利かない足を叩き、トレードマークの大きな声で自分を励ますように構える。ラリーの末、相手選手のシャトルがネットを超えてこないことを確認した途端、大きな喜びの声をあげた。足を引きずりながらの勝者サイン。週4回の練習時間は短く、その分とにかく真剣に取り組んできたという。インタビュー時の優しい声や話し方はプレーの時とは違い、そのことがまた、どれだけ真剣に練習に励んできたかを示している。



中嶋慎太郎選手

男子ダブルス 山中佑馬、大橋純(SMAGAN)



(左) 山中選手 (右) 大橋選手

同時に始まった決勝戦の中で一番先に優勝を決めた山中佑馬さん、大橋純さん。お互いの調子をみながら攻守を交代するなど、息の合った二人。バドミントン歴は10年以上だが、実は組んでからはまだ数か月だとか。普段から相手の調子を確認しながら補い合ってきた二人は、インタビューの間も互いを気遣う様子がとても印象的。予選リーグと決勝リーグの日、調子がいいのは逆だったそうですが、二人で楽しみながら戦い抜きました。

女子シングルス 大迫愛弓(豊田合成)

ファイナルゲームまでもつれる50分超の長い試合を制した大迫愛弓さん。試合中の笑顔が印象的な彼女は岐阜出身、中日楯は初エントリー。今年立ち上がった豊田合成バドミントン女子部で練習に励む。週2回の限られた時間で足りない練習は、古巣の練習に参加することで補ってきた。1ゲームを取り、2ゲーム目では笑顔が消えた時間もあったものの、3ゲーム目後半にその笑顔が戻ってきた。最後までシーソーゲームの試合展開だったが、緩急の効いた球回しで、延長ゲーム最後の2点を連取した。



大迫愛弓選手

女子ダブルス 水野裕加、中林彩衣(南山大学)



(左) 水野選手 (右) 中林選手

岐阜出身の水野裕加さんと熊本出身の中林彩衣さんの二人が、大学入学で出会ってからのパア2年目。ダブルスで意識したのは攻撃型。一人が後ろで走って、もう一人が前に早く入って攻撃に持っていくという形。決勝の日の試合の中で何度も繰り返し印象に残っているパターン。意識したことを確実に形にし、この秋季大会で頂点に立った。

(広報 松山久実代)

特集

明日へ駆ける



平成29年度 愛知県高等学校新人体育大会

新人戦愛知県大会が10月28日(天白SC)、11月3日(WA刈谷)、4日(豊川市総合体育館)に開催された。

団体戦決勝は男女ともに名経大市邨vs岡崎城西の組合せ。男子は、1複の中林・青山(市邨)vs鳥居・木原(城西)、1単の辻(市邨)vs生田(城西)は市邨がストレート勝ち。

2複の西塚・蒔田(市邨)vs梅田・國分(城西)では14-21、21-18、21-15で市邨が勝利した。

先に優勝を決めた男子からも力強い声援が送られた女子の決勝戦は、ファイナルなしの展開が続く。1複の酒井・佐藤(市邨)vs縣・池田(城西)は市邨、2複の池上・大矢(市邨)vs片山・加藤(城西)は城西、1単の舟橋(市邨)vs山本(城西)は市邨が勝利し、市邨にリーチ。2単で池上(市邨)vs縣(城西)、3単で酒井(市邨)vs池田(城西)というカードの結果、3単を市邨が勝ち取り、女子も優勝を決めた。(2単1ゲーム目を市邨が先取、2ゲーム目に突入した時点で3単が勝利)

市邨の男子主将中林「全国私学で悔しい思いをしたので、選抜ではベスト4を目指して頑張ります」、女子主将酒井「ベスト4を目指して頑張ります」と今後の意気込みを力強く語ってくれた。総体では果たせなかったアベック優勝。特に女子選手達が大喜びする姿が印象的だった。(男子3位：愛工大名電、女子3位：星城)



男子



女子

個人戦は接戦の連続だった。男子ダブルス優勝は中林・青山(市邨)。東海大会を懸けた2決では団体戦2複と同じカード。19-21、23-21、15-21で西塚・蒔田(市邨)が勝ち、惜しくも負けた梅田・國分(城西)は悔しさを噛み締めた。シングルスではベスト4を市邨が占め、8位までにも7名が入る快挙だった。

女子ダブルスは、団体戦でも圧倒的な強さを見せた酒井・佐藤(市邨)が優勝。杉原・石原(星城)が3決で縣・加藤(城西)に21-7、22-24、21-19で勝つと、2決では池上・舟橋(市邨)を相手に21-19、14-21、21-19で制した。3校の応援にも熱が入り会場は熱気に包まれた。シングルス決勝は1年生対決となる舟橋(市邨)vs縣(城西)。舟橋が2ゲームともに21-18で勝ち、優勝を果たした(縣は2位)。

本大会で、団体戦上位3校、個人戦2名(組)が1月に開催される東海大会への切符を手にした。愛知県勢の全国での活躍を期待したい。

うえて
(愛知県立豊明高等学校バドミントン部顧問 上出美佳)

第41回愛知県中学生大会

11月4日、5日に大府市民体育館で第41回愛知県中学生新人バドミントン大会が開催されました。

夏の総体を最後に3年生が引退し、2年生以下が中心となる今大会は、新しい世代における愛知県最強のプレイヤーを決める大会となります。そのため選手達の勝利への強い意気込みと緊張感が会場いっぱいに漂う中で試合開始となりました。

初日は男女ダブルス全試合と男子シングルの1回戦、2日目に男女シングル全試合が行われました。

男子ダブルスでは準々決勝で夏の総体3位の縣・熊谷組(津賀田中)と池村・近藤組(市邨中)が対戦。激闘の末、辛くも池村・近藤組が勝利をつかみました。優勝は阿保・上田組(市邨中)。市邨中は4位までを独占する結果となりました。

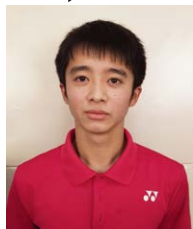
女子ダブルスは決勝で夏の総体3位に入賞し、東海総体でも健闘をした杉原・伊藤組(日進東中)と成清・河辺組(市邨中)の対戦となりました。前半から杉原・伊藤組がスピードとパワーで攻め立て、1ゲームを先取。このまま決まるかと思われた2ゲーム目、成清・河辺組が粘りのプレーを見せ、2ゲーム目を取り返す展開となりました。迎えたファイナルゲーム、成清・河辺組はその勢いのまま、強気のプレーで相手を抑え込み、優勝を手に入れました。

シングルの注目選手は2年生ながら全国総体へ出場した阿保選手(市邨中)と女子の久湊選手(桜田中)。共に自分の持ち味を最大限発揮。負けてはならないというプレッシャーの中、決勝でも自分の力を周りに見せつけるかのように、他者を寄せ付けぬ圧倒的なプレーで優勝を飾りました。

夏に比べて選手達の成長ぶりを実感できる大会となりました。また今年度は全日中などの大きな大会も控えています。今後の選手達の飛躍を期待します。
(名古屋経済大学市邨中学・高等学校バドミントン顧問 石井久伸)

★ 愛知のホープ ★

おかやす りゅうと
阿保龍斗(名古屋経済大学市邨中学校)



名古屋経済大学市邨中学校2年生の阿保龍斗選手を紹介します。

岐阜県出身ですが、中学校進学を機に名古屋市の市邨中学校へ入学しました。

彼の持ち味は、高身長から放たれる威力のあるスマッシュ。リーチもあるため、角度のついたジャンピングスマッシュは、決め球としての効果を十分に発揮します。

小学校時代はABC大会・全国小学校大会でベスト8という好成績を残しました。中学校進学後も、先日行われた愛知県中学生大会で単・複ともに優勝。また夏の全国中学校総体やJOCへ出場し、全国の選手を相手に活躍しています。

中学進学後、これまでの自分のプレーでは勝ち上がれないことを実感した彼にとって、現在の最大の課題はスピードと体力を強化すること。そのために、走り込みを中心に、筋力・体力アップのためのトレーニングに積極的に取り組んでいます。

今後の目標は、全国大会でベスト8以上に入ること。そしていつか「桃田選手のような、世界で活躍する選手になりたい」と話します。すでに全国の選手を相手に戦っている彼にとっては、努力次第で手の届く目標です。

またバドミントンだけでなく、高い人間性や社会性を身に付け、誰もが憧れるプレイヤーになってほしいと期待しています。

(名古屋経済大学市邨中学・高等学校バドミントン部顧問 石井久伸)

フットワーク

此の欄は、連載物のコーナーとして県内各チームの紹介やその他の記事を皆さんに続けてお届けするコーナーです。

今回は

長久手ジュニアバドミントン部

を紹介します。

平成20年4月、長久手市体育協会へ加盟とともに発足しました。小・中学生を対象に地域の活性化とバドミントン活動の普及に取り組み、9年目を迎えました。部員数は32名。主に小学生を中心に、中学生の数名がクラス別のチーム編成により、週3～5回の練習を行っています。

発足時は、週1回の練習からスタート。徐々に練習回数が増え、7年目を迎えた頃、部員数が増したことや市内各小学校の体育館を利用できるようになり、量・質共に練習内容が充実してきたことで成果が出始めました。

「ケガをさせない・しない」よう、アップ・ダウンは入念にストレッチを行います。平日はノック練習を主体に、土・日の練習では基礎体力作りやアジリティトレーニングに時間を費やし、メリハリのある練習を心掛けています。オールゲームやコーディネーションゲームは、全員で意欲的に取り組んでいます。

各種大会に向け、地力をつけてきた高学年が目標にチャレンジし、「(自分が)できることにベストを尽くす」心構えで取り組んだ結果、保護者の支援・協力も得て、今年度も昨年度に引き続き、全国大会(個人)へ出場することができました。

この成果におごらず、選手には新たな目標に向けてチャレンジする心をいつまでも持ち続けて欲しいと思っています。また今後、市内の小・中学校の部活動がどんどん活性化し、進学してもバドミントンが続けられるよう市に要望しています。

(長久手ジュニアバドミントン部代表 川本 享)



第72回国民体育大会 愛媛大会

平成29年10月6日(金)～9日(月) 伊予郡砥部町陶街道ゆとり公園体育館

<詳細結果>

少年女子 ベスト16

第一複で序盤に大量リードを許して敗戦となった。

続く単も波に乗れず敗退となった。

愛知	0	－	2	北海道
清田 酒井	0	11-21 20-22	2	山口 内山
縣	0	15-21 19-21	2	内山

成年男子 ベスト16

S/Jリーグペアに勝利目前に迫ったが惜しくも敗戦。

インカレ単覇者にも善戦及ばず。

愛知	0	－	2	福島
松本 宮嶋	1	15-21 21-17 20-22	2	松居 三橋
森田	0	14-21 12-21	2	古賀

少年男子 ベスト16

3年生コンビの村瀬・酒井が好調をキープし3戦全勝。選手交代で起用された青山も初出場の中、すべてファインルをこなした。岡山戦では、JOCベスト4選手に接戦、次年度へ期待したい。

愛知	2	－	1	新潟	愛知	2	－	0	群馬	愛知	1	－	2	岡山
村瀬 酒井	2	21-15 21-14	0	小林 菅原	村瀬 酒井	2	20-22 21-14 21-11	1	平野 渡邊	村瀬 酒井	2	21-16 17-21 21-19	1	中村 中西
青山	1	21-11 6-21 13-21	2	五十嵐	青山	2	21-23 22-20 22-20	1	小山	村瀬	1	21- 9 17-21 17-21	2	藤井
村瀬	2	21-19 21-10	0	小林						青山	1	24-22 12-21 13-21	2	一井



<まとめ>

次年度に向けて、少年種別については中学3年・高校1年の早い段階からの強化策を構築し、両種別の出場を目指していきたい。

また成年については、日本リーグチームと協力関係を築き、愛知として最強メンバーを選考し、入賞を目指したい。

(選手強化委員長 馬場直樹)

平成29年度東海総合バドミントン選手権大会

平成29年9月9日、10日の両日、ウィングアリーナ刈谷に東海4県の代表選手が集合、一般男女単複、混合及びジュニア男女単複の9種目134試合が行われました。東海地区ナンバーワンを目指して熱戦が繰り広げられ、愛知から多くの優勝者が生まれました。

優勝者 (全日本選手権大会へのエントリー資格が与えられる)

■一般 男子複：西澤潤・和田周
女子単：藤原あすか
女子複：杉山利奈・下農麻結
混合複：和田周・二村ひとみ

■ジュニア 男子複：中林寛貴・青山睦人
女子単：懸葉々美
女子複：酒井すみれ・池上菜々子
(広報委員長 岩田 崇)

大府

JR 大府駅西口徒歩 8 分

バドミントンプロショップ
リーダーズ グループ

SINCE1979

名古屋一社

地下鉄一社南出口より徒歩 2 分

はリーあっぷ

代表 中口直人

TEL(0562)44-5529 FAX(0562)44-5594

(有)リーダーズ

代表取締役 菱田修光

TEL・FAX(052)703-2767

愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル

『愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル2017』年齢別バドミントン県大会が平成29年10月15日(日)名古屋市緑スポーツセンターで開催されました。

本年は30代女子複、40代男子複、50代混合複の市町村対抗年齢別混合団体戦としてトーナメント形式で行われ、名古屋、稲沢、刈谷、武豊、安城、大府、一宮の7チーム47名が参加しました。準決勝、決勝はすべて1-1までもつれ、どのチームが優勝するかわからない状況の中、今大会を制したのは大府市でした。

悪天候にもかかわらず、会場内は活気に溢れていました。(広報 片山 敬)

優勝	大府市
準優勝	刈谷市
3位	安城市
4位	一宮市
5位	名古屋市
6位	武豊町
7位	稲沢市

NEWS

指導委員会

◆指導委員会主催事業

- ①11月12日 打田しづか選手によるジュニア指導者講習会の開催
- ②11月18日 公認上級指導員・指導員資格更新のための義務研修会の開催
- ③11月25日 第2回BSL・AED講習会の開催
- ①②③についてはHPをご覧ください。
報告書を掲載しています。

◆指導員養成講習会専門種目の部開催

11月4日、18日 12月2日、9日、16日
受講者20名、名古屋女子大学で開催しました。

◆今後の予定

- 1月27日 碧南市技術指導講習会の開催
- 2月(日程調整中) 指導者講習会の開催
(指導委員長 佐藤荘二)

た東海大会で3位まで入賞した選手が全国大会に出場します。愛知県選手は、シングルス7名、ダブルス12組が全国大会への切符を手にすることが出来ました。昨年より全国出場者が増え、さらに4年生以下複では男女とも1.2.3位を制覇しました。

全国大会の直前ではありますが、関東オープン大会・近畿オープン大会の団体戦に参加しています。目的は、選手に何が必要かを抽出し、さらに分析して、対策を考えながら練習メニューを立ち上げて、1つでも多く習得させることです。

昨年、男子団体優勝という素晴らしい成績がありますので大変プレッシャーを感じますが、今年も団体戦、個人戦とも上位入賞を目標に、勝つ事にこだわり、攻めるプレーが出来るように選手に声かけしていきます。(愛知県小学生バドミントン連盟強化副委員長 間瀬孝子)

第44回愛知県レディースバドミントン大会(団体戦)

日時：平成29年10月2日(月)～4日(水)
10日(火)～12日(木)
17日(火)～19日(木)

会場：日本ガイシスポーツプラザ第2競技場

260チーム(1,626名)が45部に分かれ、熱戦が繰り広げられた。各部の優勝チームは以下の通り。

1部 春日井MIX	2部 岡崎フェニックス	3部 春日井MICKEY
4部 岡崎アンドロメダ	5部 岡崎ヘルフレス	6部 豊川ランパディ
7部 安城サルビア	8部 津島ウィスタリア	9部 豊田クレスタ
10部 一宮らいちょう	11部 知多えびね	12部 一宮はくちょう
13部 春日井MARIE	14部 豊川ラ・レッド	15部 名古屋緑ミント
16部 岡崎オリオン	17部 刈谷アイリス	18部 一宮おどりこ
19部 春日井サンライズ	20部 小牧メロン	21部 名古屋千種虹
22部 春日井ジョイナス	23部 清州ラッシュ	24部 安城ヒマワリ
25部 江南藤	26部 あまらズベリー	27部 碧南おおみ
28部 豊田MR2	29部 春日井アトムズ	30部 碧南トトロ
31部 知立こすもす	32部 尾張旭ウィッシュ	33部 津島ゴールデン
34部 碧南キララ	35部 一宮伊吹	36部 大府すみれ
37部 蒲郡ぴあ	38部 大口ファンシーズ	39部 春日井びいす
40部 尾張旭さぶらんか	41部 尾張旭ドリーム	42部 知立なでしこ
43部 春日井ローズマリー	44部 春日井りんぴいす	45部 小牧ピーチ

連盟NEWS

全国小学生バドミントン選手権大会にむけて

小学生連盟では、年間を通して強化練習及び強化合宿を実施しています。また、フィジカルの向上を目的とした強化(愛知アスリート事業)も行い、選手の育成に努めています。

愛知県予選会を経て、平成29年10月8日に開催され

西三河のバドミントン専門店

モリタスポーツ

豊田市山之手3丁目100番地
☎ <0565> 29-0055

市町村だより

一宮バドミントン協会

◆一宮市民秋季バドミントン大会

11月12日(日)参加者388名、一宮総合体育館
熱戦が繰り広げられました。結果は次の通り。

		男子		女子	
		優勝	準優勝	優勝	準優勝
1 部		藤川 拓也 山本 拓弥	日下 俊 谷川 隼也	安藤 悠花 伊串 彩香	岡本 千昭 久瀬茉莉乃
2 部	A ブロック	松原 伸幸 岡本 哲也	広瀬 智康 武仲 吉彦	永森 直美 加藤 洋美	刈谷 優希 権田 真由
	B ブロック	小島 由輝 野口 和輝	飯田 透也 足立 陵	沖野 南美 毛利 葉奈	松永 百加 木原 利奈
3 部	A ブロック	三觜 大夢 林 佳祐	堀田 剛 坂本 暁彦	可知 美乃 田中 佑奈	内藤 明美 加藤 鈴代
	B ブロック	水野 瑛太 杉村 泰知	守屋 夏樹 西原 瑞樹	米倉 美咲 島田 琴寧	服部 愛美 野々部 雅
シニア		中川 浩示 家壽多直樹	吉田 隆司 加藤 泰弘	川尻 礼子 岩井 実香	吉田 五月 平田ゆかり

碧南市バドミントン協会

碧南市バドミントン協会は38年目を迎え、現在の
会員は約100名です。

発足当時は、男性チームが主流でしたが、今では
すっかり様変わりし、レディースが主体となって元気
いっばいに活動しています。

レディースクラブは、3年前に念願の全国大会出
場を果しましたが、力を出し切れなかった思いがあ
り、再チャレンジを目指しています。

碧南市は「スポーツで元気をつくる健康都市へき
なん」のスローガンを掲げ、市民へのスポーツ啓蒙に大
変力を入れています。スポーツ施設も充実し、協会
設立当初に比べると、格段に良い環境の中で、会員
一同、良い汗を流しています。

(碧南市バドミントン協会理事長 角谷多恵子)

勝つための本物

GOSEN®
www.gosen.jp

株式会社ゴーセン 大阪本社/TEL.06-7175-7115 FAX.06-6538-8238

豊田市バドミントン協会

◆第40回 市民バドミントン選手権大会

10月15日(日) 豊田市西部体育館

	優勝	参加チーム
男子 A	安井・鈴木 (BS モリタ)	12 チーム (24 名)
男子 B	高橋・畔柳 (花山/ギャング)	24 チーム (48 名)



男子Aクラス 優勝
安井・鈴木 (BSモリタ)



男子Bクラス 優勝
高橋・畔柳 (花山/ギャング)

	優勝	参加チーム
女子 A	岩間・黒木 (G.spank!)	9 チーム (18 名)
女子 B	益本・武山 (豊田東高)	15 チーム (30 名)



女子A 優勝
岩間・黒木 (G.spank!)



女子B 優勝
益本・武山 (豊田東高)

稲沢市バドミントン協会

第58回稲沢市体育大会バドミントンの部が、10月
15日、豊田合成アリーナにおいて行われました。

参加者は、男女とも1部から3部に分かれ、合計
72ペア144人。地元高校生も多く参加し、活気ある大
会になりました。

入賞者は以下のとおりです。

男子1部	優勝	三菱電機	西村 勇紀	中島貴一郎
	準優勝	大里東バドミントン部	藤川 英礼	堀 裕貴
男子2部	優勝	UNITE	丸山 光司	加藤 達典
	準優勝	平和バドミントンクラブ	錦野 雅人	梶浦 英雄
男子3部	優勝	こばと健康クラブ	渋谷 杉彦	北瀬 勇
	準優勝	杏和高校	岩井 駿吾	野々部駿也
女子1部	優勝	大里東バドミントン部	勝呂 繭子	吉田 千尋
	準優勝	ひまわりバドミントンクラブ	田島 小純	西村 素子
女子2部	優勝	ウィングス	大口亜希子	稲森 寛子
	準優勝	ひまわりバドミントンクラブ	大野 幸枝	佐竹 映子
女子3部	優勝	若葉バドミントンクラブ	酒井 貞代	桜井 和美
	準優勝	クラブX	村瀬 公恵	柴山 啓子

日進バドミントン連盟

◆日進市秋季バドミントン大会

平成29年9月24日(日)

日進市スポーツセンター

		優勝	準優勝
男子	1部	井上 聖悟 細井 直弥	成田 裕毅 丸山 裕介
	2部	椎葉 祐斗 後藤 健太	長谷川 裕起 酒井 洋輔
女子	1部	井田 理沙子 井田 彩実	杉原 颯姫 伊藤 実咲
	2部	大谷 優香 杉本 恵未	志賀 和代 大槻 美紀
	3部	滝塚 祐美 市川 由佳	福嶋 柴乃 磯西 かな
シングルス ジュニア	1部	杉原 愛姫	岡島 早那
	2部	足立 拓瞳	谷本 空佑真
	3部	中川 陽葵	萩野 源大

知多市体育協会バドミントン連盟

◆愛知県知事杯 第41回全知多バドミントン大会

平成29年11月4日(土)

高校男女団体戦 41チーム 250名

平成29年11月5日(日)

一般男女個人戦ダブルス 125組 250名

500名にのぼる参加者が知多市民体育館で熱戦を繰り広げました。結果は次の通り。

	優勝	準優勝
高校男子団体	半田東高校 A	半田工業高校 A
高校女子団体	半田高校 A	半田東高校 A
男子ダブルス1部	安藤 尚弘 城川 航輝 (大府市)	森田 貴士 井上 聖悟 (知多市)
男子ダブルス2部	岩田 哲征 松村 惇也 (知多市)	浅井 貴大 井上 智晴 (知多市)
男子ダブルス3部	伊東 順也 平野 泰考 (大府市)	山本 真吾 一瀬 秀人 (大府市)
女子ダブルス1部		
女子ダブルス2部	杉本 恵未 新井 彩乃 (東海市)	竹内 友香 坂野 令奈 (武豊町)
女子ダブルス3部	内田 理恵 山下 陽子 (武豊町)	織田 成美 櫻井 遥菜 (東海市)

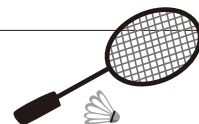
テニス・バドミントン専門店

ラケット
ショップ

NONAKA

名古屋千種区内山町3丁目28番2号
TEL <052> 741-3537

審判連載



今回のテーマは「着衣について」です。

水野 慶介

バドミントンで使用するウェア、シューズ等は、その時代の流行や技術の進歩で様々な変化を遂げています。それに合わせて、試合で着用出来るものも変化しています。

大会運営規程には、第4章第23条に「色付き着衣を使用する際は、競技の品位を保つため審査合格品とする」とあります。また、第24条には広告、ロゴ、背面についての規定があります。

審判業務をするにあたって、着衣のチェックはもちろんですが、背面のチェックも重要になります。上位大会につながる際には、選手のためにも、より細かなチェックが必要になります。競技規則とともに、大会のパンフレットにも書いてあることが多いので、一度確認しましょう。

編集後記



今回は2つの快挙の報に接することができました。高倉さん、世界シニア堂々の銅メダルおめでとうございます。そして男子JTEKTチーム、S/Jリーグへの昇格おめでとうございます！グランパスのJリーグ復帰以上に素晴らしい筈なのに、メディア露出が少なくて不満ですね。私は時々ケーブルテレビでS/Jリーグを見ますので、楽しみが増えました。問題は男子の試合中継をしてもらえるかどうかですが……。さあ、今年も頑張ろう！

(広報副委員長 天竺良彦)

連絡 投稿

〒452-0008 清須市西枇杷島町地領 1-9-9
広報委員長 岩田 崇
TEL (052) 501-2602

愛知県バドミントン協会のホームページアドレス

<http://www.badminton-aichi.com/>

Eメールアドレス

info@badminton-aichi.com

スポーツごころを世界に。

